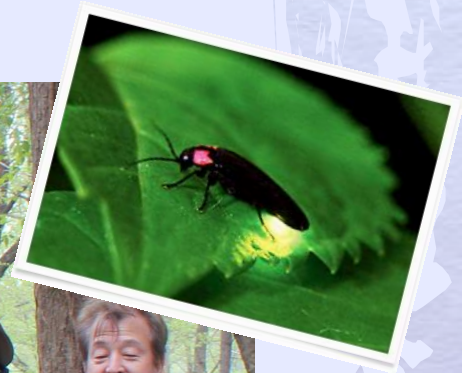




# ホタルネットワーク mito 水戸黄門様のホタル「復活！」プロジェクト





## ホタル再生プロジェクトの目的

英宏中学校裏にある湧水地は昔、水田地帯であり、30年前までホタルがすむ憩いの場でした。しかし、現在ではスギや雑草が繁殖し、不法投棄のごみが散乱する荒れた場所となってしまいました。英宏の泉周辺の環境を科学同好会のメンバーを中心として整備し、逆川こどもエコクラブが守ってきた地元のホタルを譲り受けて生物多様な空間を創造しながらホタルを再生することを目的とした。



# 1.はじめは森の間伐から

PTAが平日にスギの木の間伐。私たちは4月の土日に運び出しを行いました。  
逆川こどもエコクラブも手伝いに来てくれました。



# 間伐 完了

## 2.不法投棄との戦い 約10tのごみが出ました

森がきれいになっていくと、不法投棄が目立ってきました。  
たくさんのゴミ・・・全て回収するのに1か月かかりました。



# 10t

### 3. 石の投入， 湿地の整備， タニシの移動

ゲンジボタルの幼虫が食べるカワニナを湧水水路の下流側から、ヘイケボタルの幼虫が食べるタニシを下流の雑草地から移動させました。



### 4. 1年間に子供たち・大人 4,000人が参加。市民プロジェクトへ



## 5. 2015年,見事に英宏の泉が完成しました



2016.10.14  
コートヤード・マリオット  
銀座東武ホテルにて

美しい景色が評価され 2016年日本ディスプレイ  
協会特別賞に輝く

こどもたちが地域の担い手として活躍！  
偕楽園公園耕作放棄地15haのうち  
5haが整備された

常磐大学

西の谷

四方でホタルが再生したのです

英宏小・中学校

逆川こども  
エコクラブ



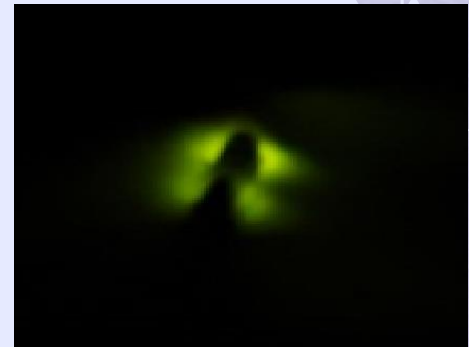
## 5. ゲンジボタルの幼虫放流

見事に整備された英宏の泉に、逆川子どもエコクラブから、ゲンジボタルの幼虫が贈られました。逆川緑地で保全されている地元のホタルの幼虫です。数ミリの状態で、約300匹いただきました。飼育するために約200匹の幼虫が英宏小学校に水槽とともに贈られました。



## 6. ホタル観賞会の開催

2015年7月初旬、逆川子どもエコクラブから、ゲンジボタル10個体、ヘイケボタル30個体が放流されました。同じ公園をつなぐための使者です。親子140名で鑑賞会を行いました。

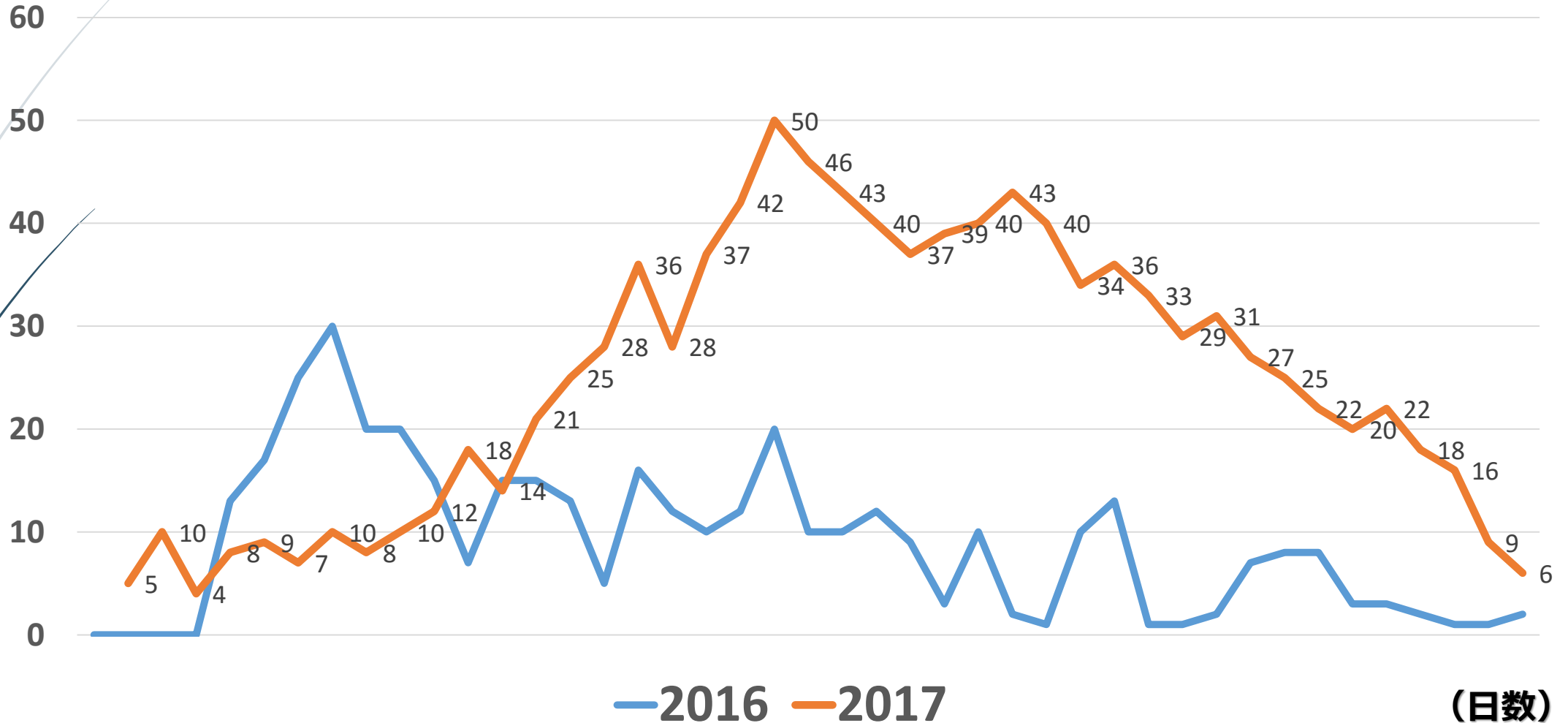




# 2016-2017 英宏の泉 ホタル発生数

## ゲンジボタルの発生数

(匹)



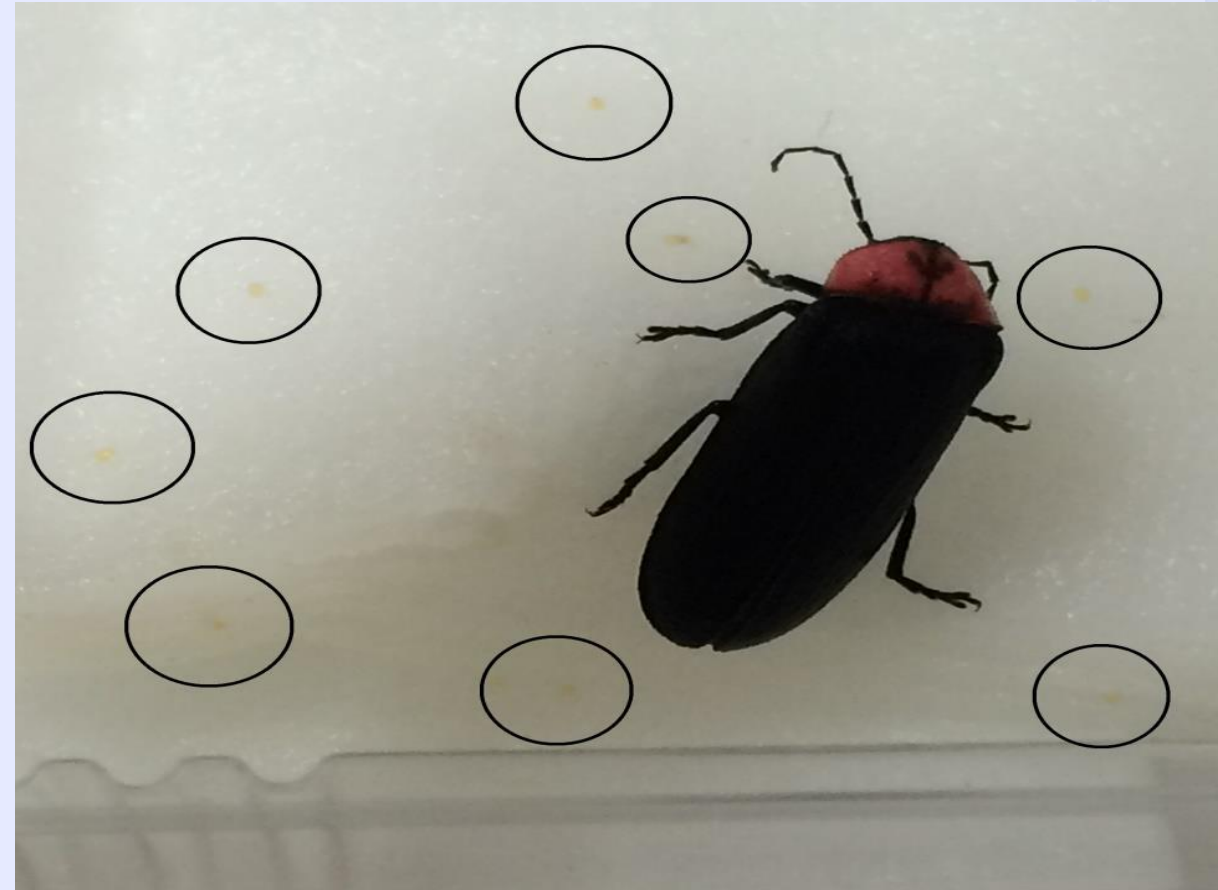
8

(日数)

2016年6月16日、英宏の泉に発生したゲンジボタルが交尾をし、産卵している様子を観察することが出来ました。



交尾している様子



産卵している様子

(黒丸で囲まれた、黄色の物体が卵です。)



# ホタル再生活動による「受賞歴」

2016年 日本ディスプレイ産業賞「第1回 NDF 特別賞」

低炭素杯 2017「環境大臣賞 学生部門 金賞」

低炭素杯 2017「マクドナルド オーディエンス賞」



# 日本一のホテルの楽園を目指します！

ホテル再生  
活動



エコ工作

学園照明の  
節約



発表会への  
参加



地域環境フェア  
の100%出展



ゴミ分別の呼  
びかけ



ご清聴ありがとうございました

